

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 平成30年6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
②	<p>(事業名・地区) 国道432号 社会資本整備総合交付金事業 東岩坂バイパス</p> <p>(事業位置) 松江市八雲町 東岩坂～日吉</p> <p>(事業費) 16,300,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は松江市八雲町東岩坂から日吉に至る8.6km区間を2車線道路で整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道沿法12条</p> <p>(再評価区分) ④再評価実施後5年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：S54年度 用地着手年度：S54年度 工事着手年度：S55年度 再評価(案)年度：H25年度 完了予定年度：H38年度 経過年数：39年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 全体で82%の進捗。 用地補償は全体の91%が買収済。 工事の進捗状況は、全体延長8.6kmのうち7.3kmを供用済み。(供用率85%) 藤原地区(L=1.6km)はH6年度に、日吉～宮谷地区(L=3.6km)は、H18年度までに供用済み。 別所地区(L=3.4km)は、終点側(L=2.1km)がH28年度までに供用済みである。 現在、別所地区(1.3km)を測量設計中であり、早期工事着工に向け、事業を進めている。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 国道432号は、県内外の都市間を連結し、県内の道路網の骨格となる幹線道路であり、県の道路網において重要な位置づけである。 東岩坂バイパスの区間は、松江市と安来市広瀬町間(合併前：松江市～松江市八雲町～安来市広瀬町)の連携、生活圏の中心である松江市街地への連絡道路であるが、特に松江市八雲町東岩坂から安来市広瀬町境に至る区間は、道路の幅員が狭く、線形も屈曲している。 本事業により、安全な通行を確保するとともに、幹線道路ネットワークの整備を進め、広域的な連携、都市圏の形成を図る。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 計画道路沿線の松江市八雲町地内は、松江市街地周辺のベッドタウンとして住宅開発が進む。 H17年3月の合併により新松江市(1市7町村)が誕生。 松江市八雲町から中心市街地へのアクセス向上、また、安来市広瀬町と松江市間の広範囲の利便性向上に資するものとして期待されている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 地元の支援の元に事業進捗している。</p>	<p>(費用対効果) B/C=1.14</p> <p>(コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令に基づき決定している。 道路全幅員7.5m(一部9.75m) 車道幅員 6.0m 3種3級の2車線道路 ※山地部規格 ※設計速度50km/h ②事業方法の妥当性 経済的なルートである、現道拡幅併用バイパス案を採用している。 <全体> バイパス新設 8.2km 現道拡幅 0.4km (現道幅員3.0m) ③コスト削減への取組 地すべり区域への影響を避ける計画により、対策等工費を軽減。</p> <p>(その他の効果) 沿道施設…星上山ｽｰﾊﾟｰｸ(アウトドア)、熊野大社、安部榮四郎記念館(紙すき)の観光ルートの形成</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 河川付け替えなどによる水質や生態系への影響について環境調査を実施。 [結果] ・水質等、環境には影響なし。 ・生態系に配慮した多自然型護岸を使用。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 普通車もすれ違えない隘路区間が残れば、広域的な幹線道路、また、沿道集落の生活道路としても安全で安心した通行が確保できず、事業効果が大幅に減少する。 また、災害発生直後から行われる緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的に第2次緊急輸送道路に指定されているが、車両の離合ができない狭隘区間が残る災害時の緊急輸送道路として機能が発揮できない。災害時に緊急輸送道路の機能を発揮するためには、道路の耐災性が確保されているとともにネットワークとして機能することが重要である。 ※第2次緊急輸送道路 県内市町村相互の連携の確保及び第1次緊急輸送道路を補完し、緊急輸送道路ネットワークを形成する道路</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) これまで、約8割以上の区間を供用済みで、引き続き整備を進めている。 現在も事業の必要性は変わっておらず、これまで改良した区間の効果発現のためにも、早期の全線改良を図る必要がある。</p>

国道432号 東岩坂バイパス

路線の概要

国道432号は松江市と安来市（広瀬町）を連結し、県内の道路網の骨格となる幹線道路です。
 本事業箇所は、医療機関や通勤先・商業施設が集中する生活圏中心都市、松江市へのアクセス道路です。
 特に、松江市八雲町東岩坂別所～藤原間は、道路の幅員が狭く線形も屈曲しています。
 県内の幹線道路ネットワークの早期完成のため、広域幹線として本区間の整備を重点的に進めています。
 ※（広域幹線とは、高速幹線道路を補完し、県内外の都市間を連結し、県内の道路網の骨格となる国道）

事業の目的

1. 幹線道路ネットワークの整備
 - ①松江市～松江市八雲町～安来市広瀬町のアクセス性向上・連携強化
2. 事故、災害への対応強化
 - ①緊急輸送道路の確保（県合同庁舎、市八雲支所、警察、消防、災害拠点病院、広域避難場所などの防災拠点を接続する道路）
 - ②国道9号の代替路線の確保
3. 医療・福祉活動の支援
 - ①松江市内にある医療機関等への30分圏域の拡大
4. 広域観光ルートの形成 ～ 八雲町の里の交流を広げよう！
 - ①八雲国際演劇祭の開催（しいの実シアターで開催）
※外国からの参加者は八雲町でホームステイ
 - ②安部栄四郎記念館で紙すき体験
 - ③熊野大社（歴史文化）・アグリパーク（滞在型農業公園）・星上山（アウトドア）など

